



がいこくも
外国にルーツを持つ
こどもとその家族のための
ロールモデル教材
きょうざい



先輩の話を聞こう



はなし き



がいこくもこどもとその家族が、
先輩が経験してきたことを知り、
自分や子どもの将来を考える機会になることを願い作りました。

はじめに

NPO法人にほんご豊岡あいうえおでは、「あいうえお子育てネット」を立ち上げ、外国にルーツを持つ子どもとその家族の支援を行っています。

日本語の習得や教科学習、就学・進学説明会に加え、ロールモデルとなる先輩の声を聞く機会を個別で行ってきました。しかし、外国にルーツを持つ子どもがどのように日本語を習得し、どんな経験をしたのかということとその本人や家族、支援者だけでなく、一人でも多くの人に知ってもらい、共有することが大切ではないかと考えました。

令和3年度は、第8回日本語発表会と同日に先輩の話を聞く機会を持ち、彼ら・彼女らの声をこの冊子にまとめました。先輩の生の声を聞くことが今後の自分について考える良い機会となり、その経験談が悩んでいる子どもの一助となることを願っています。



ジェyson・ボニファシオ(フィリピン出身) 日本での生活を通して

こんにちは、皆さん！

私の名前はジェyson・ボニファシオです。フィリピン出身です。

2013年から2015年まで、日本に住んでいました。豊岡市立南中学校で2年間勉強しました。カタカナ、ひらがな、そして、特に漢字のような基本的なことをあいうえお日本語教室で勉強しました。

ぼくはフィリピンに帰国することになりましたが、日本の中学校に行ったり、日本語を勉強したりしたことはすばらしい経験になりました。フィリピンに帰ってから、自分の将来を見つめ直す機会になりました。

皆さん、日本での生活を楽しんでください。地域の祭りに参加してください。特に豊岡の花火を見に行ってください。地域の行事に参加することはとても価値のあることです。日本でのすばらしい滞在を楽しんでください。

日本での学校生活を
経験して感じること



山村礼意(中国出身) 自分自身の経験から

皆さん、こんにちは。ぼくは山村礼意です。出石高校の3年生です。

今日は日本で生活している子どもに自分自身の経験話をします。

まず、初めて日本に来た子どもは日本語が分からなくて、人と交流ができないかもしれません。日本語が早くしゃべれるように、基本的なものは単語量と文法です。毎日、少なくとも単語1個を暗記して、普段から日本語をよく聞くとか、話すとかしてください。例えば、テレビを見て、内容が分からないかもしれませんが、テレビを見てください。日本語の発音の仕方をよく注意して聞いてください。どんどん自分の日本語がうまくなります。

ぼくが日本に初めて来たとき、ぼくは孤独でした。我慢をしました。でも、人と話すことが大事です。学校で、できれば、友だちと話してください。恥ずかしいと思うかもしれませんが、気にしないでください。あなたが外国人であることは相手はわかっていますから、理解してくれます。大丈夫です。

もし学校でいじめられた場合は、怒りたくなるかもしれませんが、でも、手を出さないでください。事実を隠さないでください。早めに学校の先生に話すことが一番です。その時、いじめている人に謝ってほしいと要求してもいいです。

中学校3年生の学生は来年は高校を受験すると思います。緊張している人は緊張しなくてもいいです。今までやってきたことを復習することが大事です。1日最低2時間勉強してください。でも、毎晩、早めに寝て、早寝早起きしてください。睡眠はとても大事です。

もう1つは自信が大事です。自信を持って、自分を信じて、受験してください。自分は何でもできるくらいの勢いをもってください。受験に必要なものは、早めに準備してください。受験の前日は早めに寝て、早めに

自分の将来に向けて準備すること



松本桜(中国出身) がんばったこと！

皆さん、こんにちは！あいうえおでお世話になっていました松本桜です。

今、私は大学1年生です。今回は「先輩の話を聞こう」ということで、お話をさせていただきます。

まず私は、文章力を育てることをお勧めします。受験をするにしても、仕事をするにしても、文章を書くということがとにかく多くなります。今のうちに練習をしておけば、本当に楽になります。

また私は、学生の皆さんには英語を頑張ることをお勧めします。今はグローバル化が本当に進んでいます。それだけではなく、いろいろな場面で英語力が問われます。今のうちに頑張ってください。苦労はすると思いますが、これからの人生において役に立ちます。私の話はこれで終わります。皆さん、頑張ってください。

自分の将来に向けて準備すること



楊鰻巧(中国出身) 大切にしたこと！

はじめまして。楊鰻巧です。よろしくお願いし

ます。日本に来て、文化の違いからいろいろあり、大変だと思います。皆さん、よくがんばっています。皆さん、本当にお疲れ様です！

私は勉強が好きじゃないので、勉強の仕方を教えてあげられないです。成績も悪かったです。赤点もいっぱい取りました。でも、勉強の目的は、自分が何に興味があるかを見つけるためだと思っています。

私は、音楽がとても好きで、音楽にたくさんの時間をかけています。毎日、歌の練習をしています。高校を卒業して、音楽の専門学校に行っています。音楽の学校での成績評価はすべて「A」です。

好きなことならがんばることが出来ます。好きなことならやる気が出ます！たくさんの人がそうだと思います。成績が悪くても、自分を否定しないでください！自分のいいところを見つけて、もっと良くなって、そして、自分がチャレンジしてみたいことにもチャレンジしてください。

自分を信じて、興味あることを試し、自分のなりたい人に向かって、がんばってください。自分のなりたい人になれなくても、後悔だけはないようにがんばってください。人生は自分で決めることができるものです。

私は日本語が上手じゃありません。話がわかりにくいかもしれません。あいうえおの先生たちはとてもやさしいですから、わからないところを聞いてください。応援しています！



自分の将来に向けて準備すること



あだちゆんか ちゅうごくしゅうしん
足立順香(中国出身)
わたし じんせい
私の人生

はじめまして。足立順香です。原稿を用意していませんので、今考えています。

13年前に中国から日本に来ました。中学生の時はとてもたいへんでした。部活の時間はずっと国語の先生に日本語を教えてもらっていました。授業もまったくわかりませんでした。多文化共生サポーター(通訳)の方とずっと1対1で、別の教室で勉強していました。

高校の時は、岸田さんから日本語学習支援のボランティアの先生を紹介してもらい、学校が終わった後、いつも日本語の勉強をしていました。高校2年生のときは人生でとても悩んだ時期でした。顔面神経麻痺という病気になりました。その時、病院で理学療法士という職業に出会いました。とても格好よく見えて、私も理学療法士になりたいと思うようになりました。高校を卒業して、専門学校のリハビリ科に入りました。1年生のときは授業にうまくついていけませんでした。外国人は私ひとりだったので、先生はゆっくり話してくれませんでした。授業が終わった後、先生のところに行き、補習をいっぱいしてもらいました。夜10時まで勉強をしました。何回もやめたいと思いました。

1年生のときは何もわからなかったので、一度留年しました。その時は学校をやめたいと母に相談しましたが、母に「もう少しがんばれ」と言われ、そこから、みんなより早く学校に行き、いつも一番最後に帰りました。卒業は100人のうち50人程でした。みんな途中で脱落していきました。私も卒業できるか不安でしたが、無事に卒業できました。しかし、国家試験という難関がありました。普通の試験とは違い、国家試験はとても言い回しが難しく、1回目はあと8点で落ちました。まわりからの応援があり、もう1回受けました。そして、3年前に国家試験に合格しました。理学療法士として3年目ですが、まだまだひよっこです。介護施設で働いています。日本語がうまく話せないときもありますが、高齢者の利用者さんはやさしく接して下さいます。リハビリを考えて、歩けるようになったり、筋力をつけたり、リハビリが楽しいといってくださいます。悲しい時もあります。仕事がないときもありますが、やはりリハビリという仕事を選んでよかったと思います。がんばってきてよかったです。



とうじ にほんごがくしゅうしえん
当時、日本語学習支援をしていたボランティアの声



おだ がきまゆみ にほんごがくしゅうしえん
小田垣真弓(日本語学習支援ボランティア)

順香ちゃんと関わって気づいたことがあります。小学校・中学校では、日本語学習を含めいろいろな支援につながる機会があるけれど、高校生になると、自分で求めていかないと支援には届きにくいということです。そして、高校を卒業して専門学校などで(日本語能力が原因で)勉強につまずいた場合は、全くその機会がありません。彼女の場合は、私たちに話してくれたので、理学療法士や看護師さんにつながり、数回ですが、勉強をみてもらうことができました。また、お母さんが勉強の大切さを理解されていて、自分から子どもの学習のために動かされたので、いろんな人につながり、支援を受けられたのだと思います。

専門学校での勉強につまずいた後、しばらく連絡がなかったのですが、2回目国家試験に合格した際に連絡をもらいました。その間の努力を知り、合格したことが嬉しかっただけでなく、「支援を受ける」から「自分の力で何とかできる」よう

しゃがいじん いま けいけん
社会人になり、今までの経験を
ふ かえ おも
振り返って思うこと

になったたくましさも感じました。
まったく日本語ができなかった女の子が、今こうして原稿なしでたくさんの人の前で話ができるまでに成長した姿を見られることを幸せに思うと同時に、これからも自信をもって歩んでいってほしいと願わずにはられません。

せんばい はなし き じゅけんせい かんそう
先輩の話を聞いた受験生の感想

受験生の私は残り約2ヶ月しかありません。今の自分は何を目指して、頑張ってきたのかを振り返るきっかけとなりました。先輩たちはそれぞれ自分らしい生き方を生きていると感じました。人生は自分のものなので、他人と比べるのではなく、生き甲斐がある生活をするべきだと思います。先輩の話を聞いてモチベーションが上がりました。いつかステキな先輩たちになりたいです。

私は中学2年生のとき、膝の前十字靭帯が切れて、手術をしました。今でもリハビリを行っています。今日の話を聞いて、リハビリの先生にもう一度感謝の気持ちを伝えたいと思いました。先輩たちの苦労の話も貴重でしたが、感謝の気持ちを忘れないことを教えていただきました。



がくしゅうしや じゅしょう
あいうえおの学習者が受賞しました!

だい かいしやうねん しゅしょうひょうごけんたいかい
第43回少年の主張兵庫県大会
「中学生のメッセージ2021」
ゆうしゅうしやうじゅしょう
優秀賞受賞

だい かい た じ まちゅうがくせい
第31回但馬中学生からのメッセージ
わたし しゅしょう
～私の主張2021～
た じ ませいしやうねんほんぶちやうしやう さいしゅうしゅうしやう
但馬青少年本部長賞(最優秀賞)



ちんしやう ちゅうがく ねんせい
陳筱 (中学3年生)
みらい ねが
未来への願い

「また中国」この書き込みをインターネットで見つけたとき、私は心が痛みました。

2018年8月21日、ちょうど今から3年前、私は中国の大連から豊岡にやってきました。日本と中国で暮らした私が言葉について考えたことをお話します。

2020年は新型コロナウイルスが世界中を混乱させたひどい年でした。コロナウイルスの発生源を巡って祖国の中国を責める書き込みがインターネット上にあふれました。私は、コロナウイルスは誰かを責めておさ収まるものではなく、全世界で考えていくべき問題だと思いますが、特定の国や感染者をひどい言葉で罵る人もいます。この状況を見て「私にできることは何かないのだろうか」と思います。

中国でも簡単な日本語を学びましたが、豊岡に来た頃、みんなが何を言っているのか全く分かりませんでした。例えば、「食べない」というのを「食べへん」と方言で言われると全く違う言葉に聞こえてわからなくなってしまうです。

初めて豊岡の小中学校に入ったとき、クラスでみんなが笑っていても、何故笑っているのかわかりませんでした。その場では笑顔を作っていましたが、実は全然面白くなかったです。自分の思っていることを

言えず、友達と共感し合うこともできないというのはこんなにも辛いものかと身をもって感じました。
友達に「誕生日はいつですか」と初めて話しかけてもらったときはとても嬉しかったです。私の方から積極的に話しかけることはできなかったけれど、話しかけてくれたことにとても感謝しています。また、先生たちは、たとえ私の日本語が下手でも「日本語がとても上手だね」といつも励ましたくれました。言葉がわからなくて、中国に帰りたいと落ち込んだこともありましたが、豊岡で出会った友達や先生はとても優しく支えてくれました。

こんなに優しい豊岡の人たちに普段囲まれています、インターネットの世界を覗くと心無い言葉があふれていて悲しくなります。言葉は思考のかけらだと思います。例えば、ふたりの人がいてお互いに優しい言葉をかけあえば、ふたりはわかりあえます。しかし、お互いに傷つけ合う言葉を発しては永遠にかわりあえないのではないのでしょうか。

今、クラスでみんなに中国語を教える時間を担任の先生が作ってくれています。人前で話すことは緊張するし、とても小さな活動ですが、私が中国語を教えることで中国について知ってもらうきっかけになればと思っています。中国に興味を持ってもらうことで、あのインターネットの書き込みのように一方的な思い込みで傷つけあうことが無くなればいいと感じます。

3年前の今日、私は日本語を一言も話せませんでした。3年後の今日、私は日本語でスピーチができるまでになりました。まだ、言葉が通じないところがたくさんありますが、自分の成長を日々感じます。私は成長の過程が好きです。結果が出るのはもちろんすばらしいことです。が、努力したり、悩んだりしているその瞬間が一番楽しいです。



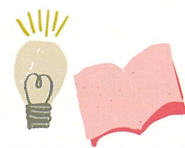
私は違う国の言葉を知ることが好きですが、それは「上手に話したい」という意味ではありません。言葉は人間の心と心をつなぐ唯一の橋であると感じています。もっと日本語を勉強して私が中国と日本の架け橋になりたいです。今、様々なことで世界は混乱しています。皆さん一人ひとりが言葉を大切に、広い視野で物事を捉えていくことで世界がよりよくなることを信じています。

あいうえおの学習者が
豊岡市人権啓発誌「かがやき」第31号に寄稿しました!



とちおかりん
栃尾花凛 (小学4年生)
みにくいアヒルの子を読んで

悲しそうな顔をしたアヒルのカバーを見てどんな物語が気になりました。「違う国に暮らすと苦労する」と私の母がいつも言っています。選んだ本にもどんな大変さがあるか知りたいと思いました。



ヒナの中に1羽だけ姿かたちの違うヒナがいました。他のアヒルが集まってきて「へえ、これがアヒルの子だって。俺たちの仲間だって。嫌だね、こんなのといっしょにされたら」と言いました。そして、羽をつつかれました。

私はフィリピンから来ました。私が一番苦労したのは言葉です。幼稚園の頃、「あ」という字が難しく、友だちに書いてもらいました。小さい「っ」がつく言葉も難しかったです。遊ぶとき、仲間に入れな

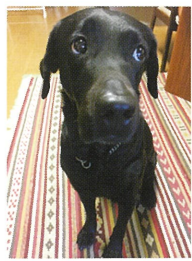
かったことがたくさんありました。どこへ行ってもわからなくて、日本語の会話ができないから無視されたことがあります。

みにくいアヒルのように悲しいことやつらいことがありましたが、がまんしました。私もこのアヒルのようにいろいろ勉強をしました。自分自身の力でがんばったから、日本の生活にもなれてきました。言葉も覚えめました。みんなと遊びたいときに遊べます。友だちもたくさんできました。楽しい人生です。がんばればできます。ゆうきをふりしぼってやりたいことをやります。私はそう思います。



ちんすうい
陳思頤 (中学2年生)
日本に来て

私は中国から3年前に来ました。豊岡に来て、4日後には小学校に行きました。日本語はまったく話せなかったのも、とても不安でした。先生が何を話しているのかわからないので学校の勉強はとても退屈でした。みんなが何で笑っているのかもわからなかったのも悲しかったです。でも、中国出身のサポーター(通訳者)が授業の内容を丁寧に通訳してくれました。友だちとの会話のきっかけづくりをしてくれました。サポーターさんのおかげで元気ができました。



学校が終わったら、日本語を勉強するため、あいうえおに帰りました。最初はあいうえおにいる「アルル」という犬に会おうのが目的でした。日本へ来て1ヶ月が経ち、少しだけ友だちと話すことができ、とても嬉しかったです。アルルに会うのも楽しみでしたが、日本語をもっと勉強しようと思いました。

あいうえおのお茶会に必ず参加しました。いろいろな国の人が参加しています。日本の文化について知ることもできます。私の国のことについても話すことができます。

最初は恥ずかしかったですが、だんだん楽しくなってきました。日本語がわかるようになってくると、友だちが何を話しているのかわかるようになり、喧嘩をするようになりました。あいうえおに泣いて帰ったこともあります。話を聞いてくれるところがあって本当によかったです。中学生になり、自分の将来について考えるようになりました。日本語の勉強だけではなく、他の教科も一生懸命勉強したいと思っています。



子どもへの読み聞かせの大切さを保護者に知ってもら
「多文化子育てサロン」を開催しました。読み聞かせを
通して、コミュニケーションを円滑にするため、母語や
継承語の大切さを知ってもら機会になりました。



読み聞かせは、親子の信頼関係を築くだけでなく、語彙力を豊かにしたり、その土地の文化や習慣
に触れたりする機会になります。家庭においても、母語や継承語などでの読み聞かせを続けてもら
いたと思います。また、子どもの言葉を育てるにはまわりの環境も大切です。多くの人とその大切さ
を共有し、地域で子どもたちを見守り、育てていきたいです。

子育てサロンに参加した保護者の感想

コロナで子どもを対象にしたイベントが中止にな
り、ストレスが溜まっていた。餅つきに参加して
楽しかったです。十二支の紙芝居では干支や日本
の文化を知る機会になりました。子どものひとは
大勢のひとと会うのは苦手ですが、集中して聞い
ていました。大きな紙芝居を使っていたので、すごい
なと思いました。
(フィリピン出身、2児の母親)

子ども(3歳)が興奮して走り回っていました。あまり
集中してくれませんでした。落ち着いたら、日本語
をもう一度勉強しようと思うきっかけになりました。
(フィリピン出身、1児の母親)

なに語で育てたら良いのか悩んでいました。直接参加
ができませんでしたが、子育てサロンの話を聞いて、
自分の感情が一番表現できる言葉で育てようと思
うことができました。
(ネパール出身、1児の母親)

この冊子は第8回日本語発表会第2部～先輩の話を聞こう～での発表内容を外国にルーツを持
つ子どもとその家族のためのロールモデル教材として作成しました。外国にルーツを持つ子ども
たちが早い段階から将来を見据える一助になることを願っています。そして、外国にルーツを持つ
子どもの支援を考えると、必要に応じて活用できるのではないかと考えています。
ひとりでも多くの子どもたちとその家族に届くことを願っています。



わからないことがあったら、相談してください。

兵庫県教育委員会子ども多文化共生センター
住 所：〒659-0031 芦屋市新浜町 1-2
TEL：(0797) 35-4537 FAX：(0797) 35-4538
E-mail：mc-center@hyogo-c.ed.jp

NPO法人にほんご豊岡あいうえお
住 所：〒668-0023 豊岡市加広町 5番13号
TEL/FAX：(0796) 20-4037
E-mail：aiueo_nihongo_toyooka@nike.eonet.ne.jp

発行



NPO法人にほんご豊岡あいうえお
住 所：〒668-0023 豊岡市加広町 5番13号
Mobile：(080) 9478-5525 TEL/FAX：(0796) 20-4037
E-mail：aiueo_nihongo_toyooka@nike.eonet.ne.jp
HP：http://www.eonet.ne.jp/~aiueo-nihongo/
Facebook：Nihongo Toyooka AIUEO



NPO法人シェイクハンズ
住 所：〒484-0083 愛知県犬山市東古券70-2
Mobile：(090) 9940-2939 TEL：(0568) 61-0971
E-mail：info@shake-hands.jp
HP：http://shake-hands.jp
Facebook：特定非営利活動法人シェイクハンズ

2022年3月発行

この冊子は2021年度独立行政福祉法人福祉
医療機構の助成を受けて作成しました。

